

平成28年度
東京都ナースプラザ運営協議会
会議録

平成29年2月24日
東京都福祉保健局

(午後 2時00分 開会)

○篠原看護人材担当課長 平成28年度東京都ナースプラザ運営協議会を開催いたします。

本日は、委員の皆様方にはお忙しい中、ご出席いただきましてまことにありがとうございます。議事に入りますまでの間、私、東京都福祉保健局医療政策部看護人材担当課長、篠原が進行役を務めさせていただきます。着座にて失礼させていただきます。

それでは、議事に入ります前にご出席いただいております委員のご紹介をさせていただきます。ご紹介した際、一言ずつご発言をお願いいたします。お手元にお配りしてございます、東京都ナースプラザ運営協議会委員名簿をご覧いただきたいと思います。会長のご挨拶の後、名簿の五十音順で進めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

では、本協議会の会長をお願いしております、公益財団法人東京都結核予防会理事長、石館会長、よろしく願いいたします。

○石館会長 ただいまご紹介いただきました石館でございます。同じく事務局医療人材課の東京都看護職員需給見通し策定検討委員会の委員も務め、長い間、この仕事に携わらせていただいております。どうぞよろしく願いいたします。

○篠原看護人材担当課長 ありがとうございます。なお、副会長をお願いしております、白十字訪問看護ステーション統括所長秋山委員と、公益社団法人東京都医師会理事、天木委員については、本日所用のため欠席と伺っております。

続きまして、公立大学法人首都大学東京看護学科長、飯村委員でございます。

○飯村委員 こんにちは。ご紹介いただきました飯村でございます。首都大学東京都健康福祉学部看護学科で看護師の基礎教育、その他にかかわっております。よろしく願いいたします。

○篠原看護人材担当課長 ありがとうございます。公益社団法人東京都医師会理事、伊藤委員でございますが、遅れている模様ですので、後ほどまたご紹介させていただきます。

社会医療法人社団順江会江東病院看護部長、菊地委員でございます。

○菊地委員 昨年4月より江東病院看護部長として勤務をいたしております菊地でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○篠原看護人材担当課長 ありがとうございます。社会福祉法人東京都社会福祉協議会事務局長、小林委員でございますが、所用のため遅れますということで伺っております。後ほど、ご紹介させていただきます。

東京都福祉保健局医療改革推進担当部長、成田委員でございますが、同じく所用のため遅れると伺っておりますので、後ほど、ご紹介をさせていただきます。

医療法人財団アドベンチスト会東京衛生病院看護部長、平野委員でございます。

○平野委員 東京衛生病院の平野と申します。よろしく願いします。東京都の看護管理者連絡会議の会長もさせていただきます。看護管理者の声を届けたいと思いま

すので、よろしくお願いいたします。

○篠原看護人材担当課長 東京労働局職業安定部長、藤村委員代理、伊藤職業安定課長でございます。

○伊藤様（藤村委員代理） 東京労働局職業安定課長の伊藤でございます。本来ですと藤村が来るべきところですが、所用により代理で出席させていただいております。バンク事業では、ハローワークと普段から連携させていただいております。我々としても助かっているところがございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

○篠原看護人材担当課長 公益社団法人東京都看護協会専務理事、山元委員でございます。

○山元委員 東京都看護協会、山元でございます。皆様には、いつもお世話になっております。ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

○篠原看護人材担当課長 ありがとうございます。続きまして、事務局をご紹介させていただきます。

東京都ナースプラザ、大田所長でございます。

○大田所長 大田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。日ごろから、皆様にはご理解とご協力をいただきまして、本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。

○篠原看護人材担当課長 東京都ナースプラザ、成川次長でございます。

○成川次長 成川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○篠原看護人材担当課長 東京都ナースプラザ、栗原確保対策担当課長でございます。

○栗原確保対策担当課長 栗原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○篠原看護人材担当課長 東京都ナースプラザ、高麗研修係長でございます。

○高麗研修係長 高麗でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○篠原看護人材担当課長 東京都福祉保健局医療政策部、中島医療人材課長でございます。

○中島医療人材課長 中島でございます。よろしくお願いいたします。

○篠原看護人材担当課長 東京都福祉保健局医療政策部医療人材課、大崎課長代理でございます。

○大崎課長代理 大崎でございます。よろしくお願いいたします。

○篠原看護人材担当課長 以上でございます。

それでは、本日の配付資料の確認をさせていただきます。皆様の資料、右肩のほうに資料番号がついておりますので、ご確認ください。

資料1、平成28年度東京都ナースプラザ事業実績になります。

資料2、平成29年度東京都ナースプラザ運営方針（案）になります。

資料3、平成29年度東京都ナースプラザ事業計画（案）になります。

資料4、平成29年度東京都ナースプラザ予算（案）になります。

参考資料としまして、東京都ナースプラザ運営協議会設置要綱でございます。

その他、配付資料がございます。皆様の机の上に置かせていただきましたクリアファイ

ルの中に入っておりますのが、東京都ナースプラザのご案内です。一般向け、学生向け、A4判のチラシということで3種類入っております。そのほか、東京都ナースプラザ、ナースバンク東京・立川PRカード、情報誌「TOKYOナースプラザ・やっぱり看護が好き」、中学生・高校生・社会人の一日看護体験学習、ふれあいナースバンク、ナーシングガイダンス、就業プランニングシート、看護学生向けPRカード、復職支援研修のご案内、ナースセンターのご案内がクリアファイルに入っております。以上になります。

また、机上に平成29年度研修計画一覧の冊子を2冊お配りしてありますので、ご確認ください。資料の不足はございませんでしょうか。

(なし)

○篠原看護人材担当課長 それでは、ここからは石館会長に進行をお願いしたく存じます。どうぞよろしく願いいたします。

○石館会長 それでは、ここからの進行は私が行わせていただきます。

最初に、本日の会議及び会議録につきましては、東京都ナースプラザ運営協議会設置要綱第7において、原則公開とされておりますが、公開ということによりよろしいかどうかをお伺いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○石館会長 ご異議がないようですので、本協議会及び会議録につきましては、公開とさせていただきます。なお、都庁全体の方針によりまして、一層の情報公開を進めるという観点から、記録のための録音をさせていただいて、会議資料や発言者名を含む会議録全文を東京都ホームページに公開させていただきますので、その点をご了承いただきたいと思っております。

それでは、議事に入らせていただきます。次第の3、審議事項の(1)平成28年度東京都ナースプラザ事業実績につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○大田所長 では、実績についてご報告させていただきます。その前に、クリアファイルのほうに入っております東京都ナースプラザのご案内という三つ折りのパンフレットを見ながら、まず事業説明を簡単にさせていただきます。

東京都ナースプラザは、看護師などの人材確保の推進に関する法律に基づきまして、東京都から指定された都道府県ナースセンターとして、看護職の確保定着事業を実施しております。事業内容は、パンフレットに書いてありますとおり、一つ目は看護職の無料職業紹介、ナースバンク事業を行っております。ナースバンクでは離職者に対する職業あっせんのほか、合同就職相談会、ふれあいナースバンク等を実施しています。また、平成27年10月から開始された辞職時等の看護職の届け出制度の登録及び就業促進に関する事業を行っております。

二つ目は研修事業です。復職を希望する離職者と東京都内約70パーセントを占める200床未満の病院施設を対象に、研修事業を年間130日ほど実施しています。研

修の内容は再就業支援研修を初め、高齢者看護関係、技術演習等を取り入れた実践的な研修を行っております。

三つ目は、普及啓発事業です。看護の仕事を知っていただき、将来看護職を目指していただきたいということで、看護一日体験学習を実施しています。都内の病院、高齢者施設、訪問看護ステーション等に依頼をしまして、中学生から社会人まで、約1,300人程度の体験学習を行っています。プラザでは、病院の募集と体験者のマッチング等、それから広報、実施までの準備を行っております。

プラザの関連事業として四つ目、地域確保対策事業を行っています。確保に関する事業としましては、離職者を対象とした1日から7日間の病院実習を、東京都が選定した支援病院で行う復職支援研修の企画、募集と研修実施への支援及び就業相談を行っております。

また、定着事業として200床未満の病院看護部を支援する巡回訪問事業を行っています。看護の質向上と定着のための業務改善等、月1回の病院を訪問する形で支援しております。

簡単ではございますが、これで事業説明とさせていただきます。

では、28年度の東京都ナースプラザ事業実績について、説明をさせていただきます。お手元の資料1、平成28年度東京都ナースプラザ事業実績<<概要>>に沿って報告いたします。なお、詳細なデータにつきましては、資料集、ホッチキスどめをご用意しておりますので、こちらを一緒にご覧いただければと思います。

まずは、バンク事業の実績について説明いたします。求人・求職相談等による就業促進ということで登録求人施設は月平均約1,525件。2番の平均登録求職者数は月平均2,368名で、前年度より伸びているところでございます。

次のページをご覧ください。就業者数は4月から9月までの合計で、1,333名となっております。昨年度期は913名でしたので、順調に増加しております。

就業先は、資料をご覧ください。それぞれ病院から訪問看護ステーションまで、傾向は余り変わってございません。後でゆっくりご覧いただければと思います。

3ページをご覧ください。来所者数です。平成28年度に立川の来所者が増加しておりますが、立川保健所改修工事に伴う移転から、この2月でちょうど1年がたちました。大分移転の周知が図られたことと、バンク内で実施しています採血サーフロー針等による静脈注射や、吸引等の体験学習が非常にふえておりまして、そういったことも加味して、立川のほうの来所者がふえているという傾向がございます。

4ページをご覧ください。バンク主催の施設セミナーの実績でございます。採用した職員を定着させる目的で「看護職・介護職・看護補助者が辞めない職場づくりのヒント」というテーマで、立川と東京で開催をしまして、参加者は107名で、大勢の方に集まっていただきました。

次に、ミニ就業コーナーについての実績です。これは週2日、東京と立川のナースバ

ンクに求人施設が直接来所しまして、就職相談、面談を行うものです。毎月約50施設が、手を挙げてくださいますが、その中からいろいろなタイプの14施設程度を選定して、求職活動をしている方へメール及びホームページで紹介をしております。これまでの実績は、施設数122に対して、面接者数が124名ということになっております。傾向としては、日勤常勤、日勤非常勤のクリニック系の人気が高く、高齢者施設関係等は少し面談者が集まらないというような傾向が続いております。

次に、先ほどご説明いたしました合同就職説明会のふれあいナースバンクについてでございます。今年度6回終了いたしまして、参加施設172、求職者数は377名の方がおいでになりまして、延べ面接回数としては717名ということでございます。昨年同期よりも参加者は増加しているという傾向でございます。

また、8番目に復職に向けた看護技術支援の実績を載せています。ナースバンク立川のほうは、吸引及び輸血ポンプ体験ということで、毎週火曜日に実施しております。164名の方が体験をしております。9月からは月1回、吸引モデルを使いまして体験をするということで実施をしております。23区から立川まで、技術研修を受けるために来所する方もいらっしゃるため、8月から東京もトライアルで採血のみを開始しまして、計19名の方が見えています。次年度は毎週開催の予定を組んでいるところです。

次の5ページについては、就業に向けてのプランニングシート作成状況や、求職者への状況になります。後ほど、ゆっくり見ていただければと思います。

次に関係機関との連携ということで、6ページをご覧ください。東京労働局との連携ということで、都内6カ所のハローワークで看護専門職相談をしております。相談者の人数は211名ということで、ハローワーク登録者で、私どものナースバンクへの登録支援について了解が得られた方には、双方で支援ができるという連携が定着した結果、211名という相談者の数の増加につながっているというふうに考えております。

それから、東京都福祉人材センターとの連携を開始いたしました。毎年7月に開催されている福祉系の就職相談会、福祉の仕事就職フォーラムに、今回初めて参加をさせていただきました。看護相談を東京ビッグサイトの会場でさせていただきました。内容的には介護系から看護への進学相談とか、来場した看護職の就職相談を実施しております。福祉系の職場との情報交換もこの会場で行われたことは有意義であったというふうに思います。

また、飯田橋に東京しごとセンターがございますが、その福祉系の無料職業紹介事業を実施している東京都福祉人材センター内で、この1月から、看護専門職の相談を開始したところです。

次に、地域連携による看護職の就職相談会です。これにつきましては立川市及び板橋区の看護部長会が実施した就職相談会に共催という形で参加をしております。来場者

への就業相談や支援業務を行いまして、実績については25施設、求職者58名の対応ができております。

バンク事業の最後は届出制度の活用についてです。離職等をした看護職は、とどけるんというサイトに届け出ることが努力義務化されまして、27年の10月から始まりました。28年度の届出者の実績については、1,503名ということになります。

6ページの下の方に書いてありますが、平成27年10月からの届け出者数全体は2,963名、全国が3万6,359名です。この届出制度を周知させるために、看護職の就職相談会を5地域、100施設、求職者190名参加で相談会を実施いたしました。周知をするために求職者向けのクリアファイルやティッシュ等を配ったり、広報活動をしています。届出制度を活用した相談会に参加した、約半数ぐらいが新たに届出をしていただきまして、求職登録をしております。届出の詳細なデータは、本日配付の「やっぱり看護が好き」の最終項に載せてございますので、後ほどご確認いただければと思います。

以上がバンク事業になります。

次に、研修事業です。資料の7をご覧ください。年間の計画につきましては、総研修科目は53科目。定員3,041名ということで、本年度開始をさせていただいております。新規科目は、28年度は4科目、そこに書いてあるとおり4科目の新しい研修を開始しております。12月までの実績は、52科目、234時間まで実施が、計画どおり進んでおります。実行者数については、3,596名ということで、若干の1割程度研修生を多く受講という形にさせていただいております。離職中の受講者につきましては、全体の6パーセント。それから、再就業の支援研修3日間については101名ほど参加していただいております。そのほか、40日間の実習指導者研修については、総定員数が225名でございましたが、実習指導者の人数を、結構どの病院さんもふやしたいということでしたので、129パーセントということで、1割オーバーで研修生を受け入れました。ただ、募集定員割れをした研修が2科目ほどございまして、次年度にまた研修の組み直しをするという形にしております。

受講者の施設状況につきましては、200床未満が54パーセント、200床以上のところが21パーセント、その他37パーセントということで、高齢者施設、訪問看護ステーション、クリニックといったところが結構伸びているという状況になります。

次に、普及啓発事業実績について、ご報告いたします。普及啓発事業実績は、8ページをご覧ください。一番大きな事業としては、一日看護体験学習の事業になります。参加者の状況は、5月、高校生限定で行いますけれども、これにつきましては165名。受け入れ施設は61施設でございました。夏につきましては、中学生、高校生、社会人ということで、合計1,039名ほど。受け入れして下さった施設は191施設でした。

そのほか、普及啓発事業としましては、28年度から地域包括ケアシステムの構築等も考慮しまして、訪問看護ステーションでの体験学習の受け入れを開始しております。受け入れステーションについては、4施設でございました。

以上が普及啓発事業実績になります。

次に、プラザ関連事業であります、平成28年度東京都看護職員地域確保対策事業について、ご説明いたします。9ページをご覧くださいながら、実績を聞いていただければと思います。まず東京都の看護職員の地域確保支援事業でございます。離職者を就業に結びつけるために、都内に就職を希望している離職者を対象に、東京都が選定した支援病院で、1日から7日間の病院実習を行う離職支援研修についての実績を報告いたします。

11ページの実績のデータを見ながら聞いていただければと思います。研修を依頼した施設は、今年度は34施設。現在のところ、12月末までの研修参加総数は147名です。今年度は新たな広報活動ということで、複数の新聞社を活用しまして、都内全域を対象に全5段の研修実施の広報を載せました。離職者が研修を受講するハードルが結構高いという話や、研修病院に直接電話をかけて、いろいろなことを聞いたりするのに気が引けるというようなお話も聞いておりましたので、研修相談専用コールセンターというのを10月から開始しまして、3カ月の実績は40件程度でしたが、ホームページに掲載している内容の確認だとか、研修病院の選び方、それから保育の利用とか、長い離職とか、60歳以上の方、復職を前提とした不安についてを聞いてほしいとか、確認してほしいといったような問い合わせがありました。この事業が今年で10年目に入りますので、10年間分の実績が11ページに載っております。一番下が今年度の実績状況になります。就業率につきまして、受講者146名のうち、約30パーセントにあたる44名の方が、既に就業をしております。2015年の実績を見ていただきますと、61.8パーセントです。これは連絡が取れた方の実績ですので、もしかすると、電話に出てくれない、あるいはメールに返信してくれない方の中でも、就業されている方がいるのではないかと思います。もう少し高い就業率を確保できているのではないかと考えております。

次に、看護職定着促進のための巡回訪問事業でございます。12ページに概要がございます。今年度は11病院に巡回訪問しておりまして、平成27年度に実施された病院施設のフォローは13病院のほうにフォローということで、電話、メール、それから1回ぐらいの訪問というような形でフォローしております。13ページ、巡回訪問している病院等の一覧がございますので、見ていただければと思います。

そのほか二次医療圏ごとに選出されている看護管理者連絡会議の幹事役の役員の方を通じまして、プラザの事業や巡回訪問事業の説明、医療圏ごとの課題等の意見交換をする機会を設けさせていただきました。今回は6医療圏と12医療圏に伺いまして、さまざまな意見交換をする場を設けさせていただいております。

また、巡回病院との共催で、看護管理、院内暴力対策、地域包括ケア病棟の運用などのテーマに共通課題研修を実施しております。参加施設が42、参加者総数209名ということでした。巡回先の病院の方からは、この研修を通して参加施設の地域連携にも役立ったというような評価をいただいております、盛況に終わっております。

以上で、4事業の実績の報告を終わらせていただきます。

○成川次長 それでは、引き続きまして、ナースプラザ管理運営予算の決算見込について報告いたします。資料の14ページで説明をさせていただきます。

まず委託料の管理費でございます。これは主に職員の人件費、事務経費等でございます。予算額が1億1,968万1,000円に対しまして、見込額が1億1,990万6,000円ということで、差し引き22万5,000円の不足でございます。主な増減理由といたしましては、まず減のほうですけれども、常勤職員の欠員で執行減が出ました。それに伴いまして、派遣職員を雇用したということと、あとシステムの更新、サーバーの入れかえを行いましたので、その分が増になっております。

次に、事業費の再就業事業です。これはナースバンクの運営費、また就職相談会等の経費でございます。予算額3,375万円に対しまして、決算見込額が3,285万円ということで、残額90万円です。主な理由につきましては、ふれあいナースバンク広告費、これは契約差金です。

次に、研修事業です。これは中小病院とか施設等の職員を対象とした研修事業でございます。予算額が3,665万4,000円に対しまして、執行見込額が3,626万2,000円で、39万2,000円の残でございます。主な増減につきましては、物品の購入の増。そして減につきましては、講師謝礼の減になっております。

普及啓発事業、これはナースプラザの広告であるとか、1日看護体験学習事業の費用等でございます。予算額1,743万9,000円に対しまして、執行見込額が1,848万円で、104万1,000円の不足でございます。不足の理由につきましては、1日看護体験学習のシステムを改修いたしましたので、その分でございます。

運営費に関しましては、小計欄をご覧くださいと思います。予算額が2億2,412万6,000円に対しまして、執行見込額が2億2,409万7,000円で、2万9,000円の残になっております。

次に、使用料及賃借料。これは事務室の借り上げ経費でございます。これは予算額が2,073万6,000円に対しまして、執行見込額も同額でございます。

次に、負担金補助及交付金。これは、建物の主に維持管理経費でございます。予算額400万6,000円に対しまして、執行見込額が297万円。差し引き残額が103万6,000円でございます。運営管理の合計といたしまして、予算額が2億4,886万8,000円、執行見込額が2億4,780万3,000円で、差し引き残が106万5,000円でございます。

以上です。

- 石館会長 ありがとうございます。委員の方が後から二人お見えになりましたので、ご紹介をお願いします。
- 篠原看護人材担当課長 到着された委員をご紹介させていただきます。公益社団法人東京都医師会理事、伊藤委員でございます。
- 伊藤委員 伊藤でございます。
- 篠原看護人材担当課長 社会福祉法人東京都社会福祉協議会事務局長、小林委員でございます。
- 小林委員 小林でございます。よろしくお願いいたします。
- 篠原看護人材担当課長 ありがとうございます。
- 石館会長 それでは、審議事項の（１）の平成２８年度東京都ナースプラザ事業実績についてのご説明を伺ったところでありますが、これまでのところでご質問、ご意見がございましたら、ご発言いただきたいと思います。
- それでは私からよろしいでしょうか。資料１の３ページ、ナースバンクの来所者数ですが、ナースバンク東京、ナースバンク立川の山を見ますと、両施設とも６月と１１月にピークがあるようです。前年度と比べると、はっきりそのピークが高くなっている感じがありますが、どういう理由でこうなったのでしょうか。あとの説明を伺いますと、届出制度を活用した地域密着型の就職相談会と関連しているようにも思っているのですが、そのところの説明をお願いできますか。
- 大田所長 ６月と１１月が非常に来所者数が多いという状況でございますが、石館会長がおっしゃったとおり、ふれあいナースバンクと同じような形式で届出制度を活用した就職相談会というのを実施しています。地域の会場で共催という形でやっておりまして、そこでご相談いただいた方々については、相談支援をしたという形で、こちらにカウントしております。私どもの会場を使わなくても支援ができたということで、件数が上がっている状況になります。
- 石館会長 わかりました。どうもありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。委員の皆様方何か。平野委員、どうぞ。
- 平野委員 届出制度の活用のところですが、２８年度届出制度による人数が１，５７８名ということで、この内訳の中で個人的に自分でホームページから届出をされた方が多いと思いますが、施設を通して届出をされたという割合など、数がわかれば教えていただきたいのですが。
- 大田所長 今日は資料を持ってきていないのですが、半々ぐらいかと思います。
- 栗原確保対策担当課長 そうですね、施設を通してはそんなに多くないです。
- 大田所長 東京は個人で登録してくださる方のほうが多い傾向にあると思います。地方では、ほとんど病院が一括で登録をしてくるという状況のようですが、個人情報がたくさんありますので、病院でまとめてというのは、東京の場合は少し厳しいのかなという気がいたします。

- 石館会長 平野委員、よろしいですか。
- 平野委員 ありがとうございます。
- 石館会長 ほかにいかがでしょうか。どうぞ、伊藤さん。
- 伊藤様（藤村委員代理） ナースプラザ事業実績の1枚目、登録求人施設と登録求職者数について、求人が若干下がってきていて、一方求職者は去年は少し上がっているというのは、これは国も一緒です。表の見方について質問ですが、例えば求職者は4月に2, 247というのは、この方は登録したら、ずっと5月も6月も数字が入っているわけではなくて、純粹に新しく2, 200人登録されたというふうに見ればいいのでしょうか。それとも、例えば登録期間に3カ月という風に決められていて、それでどんどん変わっていつているのでしょうか。
- 大田所長 そうです。新規登録者が月に100人ちょっとくらいです。6カ月で登録から削除されますので、その間、月末の登録人数という形で書かせていただいています。
- 伊藤様（藤村委員代理） 求人については、いかがですか。
- 大田所長 求人も同じ状況になります。若干、求人登録が減ってしまっていて、私どもも少し様子を見ていたのですが、病院とか訪問看護ステーションは去年度並みか、少しふえています。クリニック、デイケア、老人ホームなど、小規模の施設の登録が少し減少しています。考えられる原因の一つとしては、登録や更新が複雑なものですから、中小規模の施設では、なかなか小まめに更新などがされていない状況があるのではないかとこののがわかってきました。
- 伊藤様（藤村委員代理） わかりました。
- 大田所長 逆に求職者のほうが少しふえているのは、我々のほうで新規登録してくださった方にアプローチをかけて、キャリアプランをつくったりとか、あと就業支援システムの独自で持っているものを改修しまして、就業状況がわかるような状況に大分改良したからと思っております。
- 石館会長 ほかにいかがでしょうか。よろしゅうございますか。
- （なし）
- 石館会長 それでは、ただいま頂戴したご意見等は、十分今後の運営に生かしていただきたいと思えます。
- それでは、審議事項（1）の平成28年度東京都ナースプラザ事業実績につきましては、これは審議事項ですのでご承認をいただきたいのですが、よろしいでしょうか。
- （異議なし）
- 石館会長 ありがとうございます。ご承認をいただきました。
- 続きまして、審議事項（2）の平成29年度東京都ナースプラザ事業計画（案）、審議事項（3）の平成29年度東京都ナースプラザ予算（案）につきまして、事務局から続けて説明をお願いしまして、その後に委員の皆様方からご質問、ご意見をいただきたいと思えます。それでは、説明をお願いいたします。

○大田所長 では、平成29年度東京都ナースプラザ事業の運営方針（案）について、ご説明いたします。資料の2をご覧ください。

東京都ナースプラザの設置・事業目的が左の上にございます。これにつきましては、平成28年度と同様に考えております。右側にございます看護職員確保を取り巻く状況につきましては、東京都の第7次看護職需給見通し、平成23年1月に作成したのを見ますと、平成27年の看護師職員の需要供給数は、12万575人と推計をされております。しかしながら、平成26年12月末に実施した看護師等業務従事者届を見ますと、実数としては11万9,136人ということで、需給見通しと1,400人程度しか不足していないという結果が出ておりましたが、常勤換算後は11万158.6人ということで、需給見通しと約1万人以上の差が出ているという状況があります。少子化の進行に伴って、18歳人口の減少が続いておりまして、今後、看護職員の養成数の大幅な増加は期待できないというのが大方の見方のございます。そういった背景を加味いたしますと、定着就業、再就業対策に一層の重点を置いた施策展開が必要ということで考えております。

もう1点は、勤務環境の改善ということで、医療従事者の離職防止や安全確保ということで、平成26年10月に施行されております改正医療法、医療従事者の勤務環境改善を促進する規程が整備されております。ライフステージに応じた働き方や、看護職が働き続けられる職場環境の整備というところが求められている状況を私どもも重く受けとめまして、29年度もプラザの事業を三つの事業と連携しまして、地域確保、それから職員の定着促進というように、四つの事業に取り組んでいきたいと思っております。

運営方針の案をご覧いただきつつ、資料3、平成29年度東京都ナースプラザ事業計画（案）〈〈概要〉〉をご確認いただければと思います。資料3と一緒に細かい29年度のプラザの事業計画が書いております。資料がかなり膨大になりますので、概要のほうをもって説明をさせていただきます。主に平成28年度との変更点ということでお話をさせていただきます。

まずバンク事業でございます。求人・求職相談等による就業促進ということで、先ほど来からお話をさせていただいております、ふれあいナースバンク、これにつきましては、回数を28年度7から8回ということで、1回回数をふやすということを計画しております。27年、28年度は、届出制度を活用した就職相談会の事業がありましたが、29年度は終了ということになりましたので、ふれあいナースバンクの回数をふやす予定でおります。

それから、復職に向けた技術支援というところで、ナースバンク東京で採血の実技を毎週実施し、回数を多くする予定でございます。

また、技術演習の一つとして、心電図モニターをナースバンク東京のほうで月2回実施する予定です。

それから、求人施設向け求人登録の手引きを作成予定でございます。なかなかe-ナースセンターのシステムが使いにくいというお話を聞いておりますので、求人施設の利便性を向上するという意味で、手引書を作成する予定にしております。

それから、東京労働局との連携を強化いたします。求職者が求人施設の見学と採用面接をセットで実施できるツアー型面接会というのをハローワークのほうで実施しております。病院での実施の際、バンク事業として共催していきたいと考えております。それから、看護系の研修会の共同開催を実施していきたいと考えております。

そのほか、地域連携については、今年度、届出制度を活用した就職相談会で連携を深めました立川市を初めとした3区と、引き続き地域連携による看護職の就職相談会を4カ所、実施していく計画でございます。

届出制度の活用につきましては、改めて周知が重要ということで、病院等へ届出制度の説明文書及び届出用紙等の送付等をいたしまして、さらに周知と届出の協力を依頼する予定でございます。

研修事業に関しましては、総科目数52科目ということで、1科目少なくする予定ではございますが、定員数については3,977名、定員数については36名増で計画をしております。詳細については、ことしはこのグリーンの計画の表をつくりましたので、ご参考にしていただければと思います。

新規研修としては、3科目ご用意しております。最新の知見ということで、乳がん看護認定看護師を講師に招いて、「リンパ浮腫のケア」ということで年2回。高齢者看護関係では、認知症看護の認定看護師による、「認知症の人とのコミュニケーション」を年2回。リーダーシップ研修では、会議やミーティングを効果的効率的に進めることを目的に、企業系のコンサルタント会社を利用して、「ミーティングリーダーシップ研修」というのを年2回実施する予定です。

新人看護職員研修は、今年度、座学だけの2日間コースと演習を含めた3日間コースを実施してはりましたが、座学だけの希望者の方が少ないので、演習実技を含めた3日間コースに統一しまして、年2回、定員60名に変更して、より実践的な研修にリニューアルいたします。

なかなか研修生の参加が少なかった2科目については終了とします。実施指導者研修等長期研修については変更なく実施をしていきます。

普及啓発事業につきましても大きな変更はございません。募集開始初日に9時という事業時間の設定をしてはりましたが、応募する方たちの利便性を考慮いたしまして、申し込み開始時間を17時からに変更していきたいと考えております。今年度、高校生の皆さんは、親御さんにアクセスしてもらったりするなど、混乱がありました。

それから、ナースプラザ事業に関する情報発信ということで、都内の看護学生に向けたナースセンターの事業をもう少し紹介していきたいと考えています。今年度は都立看護専門学校を中心に開始した就職活動を始める際の就職ガイダンスや、卒業時のガ

イダンスにお招きをいただいて、プラザの事業を説明しております。これについても他校にももう少し広げていきたいと考えています。

地域確保対策事業につきまして、29年度の実施スケジュールをそこに書かせていただきました。来週、支援病院の公募説明会を開催する予定で、5月には研修病院を決定、6月末から研修を開始していきたいと考えております。

巡回訪問事業につきましても、29年度は28年度と同様のスケジュールで、これも28日から公募説明会を開始しまして、4月からは支援を開始したいと思っております。また、二次医療圏の看護管理者連絡会との連携につきましても、引き続き連絡会への出席をさせていただくなど、看護師の確保定着についての情報交換や過去対策の連携強化を図っていきたいと考えております。

最後に、医療勤務環境改善支援センターとの連携強化を計画しております。医療勤務環境改善支援センターでは、医療系コンサルタントと社会保健労務士が医療機関に直接訪問して、現状の分析、課題抽出を支援すると、医療機関管理者の勤務環境改善についての取組支援を実施しているところです。29年度は、センターと協力いたしまして、初回訪問に同行させていただき、看護の課題等について、一緒に理解を深めていくというような連携をしていくことを計画しております。

変更点は以上になります。

○成川次長 それでは、引き続きまして、平成29年度東京都ナースプラザ管理運営予算ということで、資料4でご説明いたします。

初めに、管理費でございます。29年度予算額1億2,092万9,000円で、今年度と比べまして124万8,000円ふえております。主な増減理由といたしましては、常勤職員の採用ということで、その分の給与号給の差金、昇給分などの給与費の増がございます。減といたしましては、今年度パソコンの更新を行いましたので、来年度はその分の導入経費がなくなるということでございます。

次に、再就業事業でございます。29年度予算額3,476万9,000円。今年度予算と比べまして、101万9,000円ふえております。増の理由といたしましては、来年度も引き続き届出制度の周知を図っていきますので、その分の広告費、あと実技体資材費ということで、実技体験の回数をふやしておりますので、その分の経費でございます。

印刷経費としては、福祉人材センター、看護学校へのPR等がございますので、その分の経費でございます。減は管理費と同じ理由でございます。

研修事業、29年度予算額3,181万4,000円ということで、今年度より484万円減っております。主な減理由といたしましては、今年度研修システムの改修を行いましたので、その分が終了するということと、パソコンの更新が終わるということがございます。そして、サーバーレンタルをやめて買取になっていますので、その分がなくなっているということと、印刷経費の節減ということでございます。

次に、普及啓発事業、2,001万2,000円ということで、今年度より257万3,000円ふえております。これについて主な増理由といたしましては、28年度、今現在各システムの脆弱性診断を実施しておりまして、その対応等の措置としてシステム改修費を計上しております。減理由といたしましては、印刷経費、事務員補助の経費がございまして、委託料総額といたしまして、小計欄に2億2,412万6,000円で、前年度同額でございます。

使用料及賃借料と負担金及交付金につきましても、前年度同額ということで、委託料、使用料、負担金、前年度同額ですので、29年度予算額2億4,886万8,000円でございます。

以上です。

○石館会長 ありがとうございます。成田委員が来られたので、ご紹介をお願いします。

○篠原看護人材担当課長 到着されましたので、ご紹介させていただきます。東京都福祉保健局医療改革推進担当部長、成田委員でございます。

○成田委員 遅くなりまして申しわけございません。成田でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○石館会長 それでは、審議事項の(2)につきまして、ただいまの事務局からの説明に関しましてご質問、ご意見ございましたら、ご発言をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

それでは、恐縮ですがまた私から。資料3に研修の充実強化が図られているという説明がありまして、資料3の3ページ以下にカリキュラムがございまして。網掛けになっているのが新規の研修かと思うのですが、研修の充実という意味で大変歓迎すべきことだと思っております。余計なご質問かもしれませんが、新しい分野ですから、新規の講師の選定などもいろいろ大変だろうと思っておりますが、準備は進んでいるのでしょうか。

○高麗研修係長 研修係長高麗です。お答えさせていただきます。まず、この新規研修に関しましては、毎年ですが、研修が終わりましたら受講生に研修アンケートをとっておりまして、そのアンケートに書かれているテーマなどを見て、需要の多いものを新規のほうの研修で組み込んでおります。

講師に関しましては、各施設様にもご協力いただいているのですが、基本的には都内の方に依頼するようにしています。認定看護師や専門看護師の方々にご協力いただきながら、ホームページで研修テーマを検索します。講師の方々にはほかの機関でも研修の講師を行ったりしていますので、そちらから3、4施設選びまして、施設の看護部長の方にお電話させていただき、「新年度、こういう研修をナースプラザとして検討しているのですが、講師をお引き受けいただけないでしょうか」と交渉させていただきます。看護部長から、その担当の方にお話していただき、承諾を得て講師交渉をしております。

○石館会長 準備は十分進んでいるというふうに理解しました。どうもありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。

もう一つ質問させてください。資料3のページの(4)の地域確保対策事業というのがありまして、その中で下のほうに東京都看護職員定着促進のための巡回訪問指導の中で、医療圏看護部長会との連携強化という言葉があります。さきほどの説明で二次医療圏ごととおっしゃったと思いますが、二次医療圏ごとに看護部長会というの存在するんですか。

○大田所長 二次医療圏ごとの看護部長会の幹事役員が集まる看護管理者連絡会議という会議がございまして、全体の会長さんを平野委員にお願いしています。

○石館会長 看護部長会は全ての二次医療圏にあるんですか。

○大田所長 看護管理者連絡会議は東京都の方から開催をしてくださいということで、自主開催みたいな形にはなっていますが、ほぼ全域、それから多摩のほうは医療圏が広いので、またその中に小さな会をつくりながら連携しています。

○石館会長 そうですか。

○大田所長 二次医療圏ごとの看護部長会については、開催回数や集まっている人数とかは、皆さんそれぞれちょっと違うようではございますが、それぞれのテーマをもって活動をされています。平野委員、ぜひどうぞアピールしてください。

○平野委員 看護管理者連絡会議については、東京都のほうから自主開催してくださいということで、それぞれの医療圏で幹事役員を2名ずつ出してもらって、役員会をしております。医療圏ごとの看護部長会は、年間6回会議をしているところもありますし、年間3回とか2回、さまざまなんですけれども、それぞれの取り組みを東京都に報告をして、1年間テーマを決めて活動したり、研修を行っているというところです。年に2回、東京都の5階の会議場で講師を選定して、研修会を開催して、600名ぐらい看護管理者が集まります。

○石館会長 わかりました。どうもありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。どうぞ、伊藤委員。

○伊藤委員 東京都医師会の伊藤でございます。地域就業支援病院について、去年もことしも31病院の予定で、昨年は新規含めて34病院という話があったと思うのですが、来年度は、ほぼ同じような陣容で、新規を入れるとかそういったことの計画はないのでしょうか。

○篠原看護人材担当課長 公募で手挙げをしていただいた中から最終的に選定をさせていただくということになりますので、もちろん新規の病院様が新たに手を挙げていただければ、選定の対象にはなりますので、選ばれる可能性はあるという形になります。

○伊藤委員 31病院で上限を切ってしまうという考えというわけではないということですか。おおよその目安ということですか。

○篠原看護人材担当課長 そうですね、31病院というのが事業の決まりにはなっており

ますので、そこを目安にして選定していきたいと考えております。

○石館会長 伊藤委員、よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

(なし)

○石館会長 それでは、特にございませんようですので、平成29年度東京都ナースプラザ事業計画(案)及び平成29年度東京都ナースプラザ予算(案)につきまして、ご承認をいただきたいと思いますが、よろしゅうございますか。

(異議なし)

○石館会長 ありがとうございます。

それでは、最後になりますが、審議事項の(4)その他といたしまして、委員の皆様からナースプラザの運営につきましてのご意見などがございましたら頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。飯村委員さんも何かございませんか。

○飯村委員 いえ、特に。

○石館会長 そうですか。菊地委員はいかがでしょう。

○菊地委員 特にございません。

○石館会長 小林委員さん、いかがでしょう。

○小林委員 バンク事業など、我々の事業に先行していろいろやっていただいておりますので、参考にさせていただきたいなと思います。勉強させていただいて、良いところはこちらにも取り込みたいと思っております。

○石館会長 平野委員、つけ加えて何かありますか。

○平野委員 ナースプラザ企画の研修などは、非常に好評です。当院からも参加させていただいていますが、大変充実しております。ありがとうございます。

○石館会長 では、東京労働局、伊藤さんのほうから何かございますか。

○伊藤様(藤村委員代理) 我々も普段から大変お世話になっていまして、本当に助かっています。ここでお礼と、あと来年は連携強化ということで、ツアー型面接会を3月に池袋でやってみるとかという話は聞いていますので、どれだけ効果があるかというのを見ながら、我々もできる範囲のことは協力してやっていきたいと思っております。引き続き、よろしくお願ひしたいと思っております。

○石館会長 山元委員さんのほうから、何かありますか。

○山元委員 看護協会では、東京都からナースプラザ運営を受託しておりますので、その点から言いますと、プラザの事業というのはすごく重要な事業であると思っておりますし、ずっと続いていただきたいと考えております。もしプラザでやれないことがあったら、次に看護協会として、その事業を続けながらやっていくようなこともあるかなと思っております。今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。

○石館会長 後から見えましたけど、成田委員さんから何かございますか。

○成田委員 遅れてきて大変申し訳ございませんでした。去年はシステムの改修のこともあり、事業実績などがよく比較できないという部分がございましたけれども、今年度

は昨年とほぼ同様の実績というのが出ているのかなと思います。ナースプラザにおきましては、ここにいらっしゃる関係機関の皆様と連携して、さらに実績を上げていただきますよう、ご努力いただければと思っております。よろしく申し上げます。

○石館会長 ありがとうございます。どうぞ、伊藤委員。

○伊藤委員 医師会的な立場からいうと、事業も充実しておりますので、病院の管理者や経営層に対し、支援内容の啓蒙活動をしていただいたほうがいいのかなと思います。今、紹介業者などの関係で、病院の経営者は非常に困っているところであって、こういう公的なものに対する期待は非常に大きいです。その一方で活動内容が余り周知されていなくてどうなのかという意見もありますので、ぜひとも看護部の中に留まらず、経営層、医師会等に対する働きかけもお願いしたいと思っております。

○石館会長 特に事務局、コメントありますか。よろしいですか。

○篠原看護人材担当課長 はい、大丈夫です。ありがとうございました。

○石館会長 ありがとうございます。

それでは、ほかにございませぬようでしたら、進行を事務局にお返ししたいと思いません。

○篠原看護人材担当課長 石館会長、どうもありがとうございました。委員の皆様からいただきました貴重なご意見は、次年度の東京都ナースプラザの運営に活かしてまいりたいと思います。

なお今後、会議録及び当日の資料につきましては、東京都のホームページで公開をしていきたいと考えております。後日、会議録をお送りしますので、ご確認をお願いします。

以上をもちまして、平成28年度東京都ナースプラザ運営協議会を終了させていただきます。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

(午後 3時09分 閉会)